



104

ごあいさつ
小田 啓二でした

みなさま、本年も大変お世話になりました。本年は、通り魔など住民を強い不安に陥れるような事件が発生し、草加・武蔵野・千葉支部などがキャンペーンを行い、住民の安心感を高める効果的な活動となりました。また六本木地区では、毎朝七時から八時十五分まで登校時の見守り活動を続けています。

「SCAN&ACTION」すなわち「その場その時に必要とされている事に気づき、動く!」はGAの原点とも言えるでしょう。



先日、国際本部の活動で、全伊本部を設置するためイタリアを訪れました。現在七支部九八名がアクティブに活動を行っています。

オルビア支部では、十一月十八日の豪雨による洪水で家屋浸水などの大被害を受け、メンバー総出で片づけ、物資運搬、被災者の心のケアなどの支援を毎日続け、またパドバ支部では、移民が増えホームレスが急増しているため、食料などの配給を続けています。彼らの安全を確保するパトロールも重要な活動となりました。

今、「GAができることは? 街や人の安全を守るために役に立つ方法は?」地域により違いがありますが、NPO法人として、支部として、個人としていつも考えながらGAの活動に臨んで頂きたいと思えます。

激しい社会の変動の中で穏やかに過ごすには、なかなか困難があります。GAにできることは果てしなくあ



ります。ここに改めて、GAの心意気を皆さんと共に確認したいと願っています。これからも良き社会づくりを指してまいりますので、引き続き協力よろしくお願ひします。

追伸・今年は自然災害により日本でも大きな被害を受けました。が、フィリピンで十一月に大きな被害をもたらした、台風三〇号に巻き込まれ、GAロサンゼルス支部メンバー、マヨが、タクロバンで亡くなりました。GA国際本部の支援により、遺体は米国の家族の元に戻されました。謹んでお悔やみ申し上げます。
(おだ・けいじ)

エンジェル・オブ・ザ・イヤー WIPER (所沢支部)

最も活躍された方に送られる、エンジェル・オブ・ザ・イヤー(最優秀個人賞)を受賞された、所沢支部長のワイパーにお話しを伺いました。

所沢支部は、二〇〇四年四月より支部設立のため三カ月間の研修を経て、正式に支部が設立されました。当初ワイパーはGAの存在は知りませんでしたが、何かボランティア活動をやりたいと考えていた丁度その時期、市で所沢支部を立ち上げる広報紙を読んだことが契機でした。

それから長い間、所沢市繁華エリアのプロペ商店街、駅構内などを周る定例パトロール、毎年一〇

月に開催される「ところざわまつり・サンバカーニバル」のサポーター、市の青少年健全育成街頭啓発キャンペーンに参加をし、活動を継続しています。

現在、所沢支部に登録をしているのはワイパー一名ですが、毎週金曜日の定例パトロールは欠かさず行っており、都度の活動報告書ではこと細かに、活動中の街の詳細を記録しております。

小学校から高校まで一貫の学校に通い、三〇年以上同じ勤務先に通われていたワイパーにとって、GAでの活動はとてもし新鮮かつ、今までに経験したことのない出来ごともありました。

「メンバーとの交流やパトロール中のコミュニケーションの仕方、パトローラーとして技術を磨いてきましたが、『確かな技術と駆け寄る勇氣』と言うAEDのキャッチコピーを目にした時、実際に出来ているか」と、自問したことがあります。また、清掃中に高齢者の方に「尊敬しています」と言っていたとき、生まれて初めて、人に尊敬をしていると言われた事もありました。その他にも、長年活動を続けてきた事により、市民の方に激励や感謝の言葉を、度々いただきました。長年の活動を通じて良い経験が多かったと言うワイパーにも、苦労はあります。特に十代から二十代の若い世代とのコミュニケーションでは、話題を探すことが難しいそうです。それでも、積極的にコミュニケ

ーションを取り、夜遅くまで出歩いている子供達に、早く帰宅するように声を掛け、ゴミが散らかっていればゴミ箱に捨てるよう声掛けをしたりにしております。

「派手で目立つ格好はしてありませんが、活動中は何も無ければ風や空気が様な存在であればいいと考えられています。街の風景に溶け込みつつ、事があれば誰よりも早く動き駆けつけることを心掛け、パトロールを行っております」と、ワイパーは語ってくれました。支部として組織的な活動は出来ておりませんが、今後の目標は、メンバーを増やし活動をもっと活発にしていこうとします。「継続することで見えてきたものがあり、まだやる事は沢山残っております」

ボランティア活動は、他の社会と触れ合う機会にもなるので、特に社会人の方を巻き込んでいきたいです。「色々なボランティア活動をされておられる方と話しをする機会があります。人の為だけではなく、自分の為にもなる」と言われる方も結構いるようで、メンタル・ヘルス・ケアとしても有効なボランティア活動を、もっと推進していきたいと意気込んでおります。



ところざわまつり・サンバカーニバル



104

第34号 2013年12月25日

子供の居場所 一万人の子供達と接し

今年の七月より、北九州支部では青少年の立ち直り支援のため、市から委託を受け「ドロップイン・センター」を開設しました。

二〇〇六年六月より赴任したタンクを始め、福岡県三支部で協力をし、センターでの受け入れをしております。加えて月曜から土曜、深夜から早朝まで駅周辺の繁華街などでパトロールを行い、深夜徘徊をしている青少年とコミュニケーションを取り、居場所づくりをしております。

街の様子は昔と比べ、ナンパで徘徊をする人たちが激減しております。ただし、ここ数年で流行り始めたSNSをツールとしている若者が増えたため、表面化していないだけであり、数が多いと減っているとは言えないかもしれません。

パトロール中は、薬物を使用し支離滅裂な言動を繰り返す人も変わらずおり、対応をすることもしばしばあります。

薬物の使用状況についても、ここ数年で変化が目立ちます。以前は覚せい剤の使用が多かったですが、現在は脱法薬物に手を出す未成年者が目立ってきました。今までに一万人以上の若者と話しをし、時には問題の解決を手助けしてきましたが、薬物の使用に関しては、関係機関と協力をして対応に当たっています。

子供達への接し方は、とても難しく、決して上から目線にならず、こちらの思いをぶつけないよう気を付けます。あくまでも、話しを聞く立場で



コミュニケーションを取り、また標準通りの対応ではなく、相手の気持ちを汲みつつ対応すること

が大切です。タンクは、「これから、見て感じ取ることができるか、各機関が協力して、本人達が変わろうとするのを励まして行きたい」と語って

パトローラーの装備品

パトロールを行うにあたり様々な対応をしますが、今回は身に付けている装備品を、一部紹介いたします。



ホイッスル



防刃グローブ



ブーツ



BDU (軍パン)



シェル・ジャケット

その他、ライトや救命道具、筆記用具などを持ち、救急対応や街の様子を記録しています。

※装備品につきましては、事務局までお問い合わせください。ホイッスルやシェル・ジャケットにつきましては、GAオリジナル商品です。

事務局だより

もうすぐ 2013 年も終わりますが、振り返るとこの一年間を通じ、全国で異常気象による自然災害に見舞われました。実は FK も災難があり、10月の台風で酷い雨漏りのため、代表やダイアナの机や書類、カーペットが水浸しになりました。とはいえ、各地で被害にあわれた方々に比べれば可愛いものです。団体の目標である防犯と同時に、防災にも気を配らなければいけないと考えさせられる1年だったのではないのでしょうか。2014年が良い年であってほしいと、心から願います。

ご寄附のお願い

ご協力の程よろしく願いいたします。



ゆうちょ銀行振替口座 00130 - 9 - 549237

または

三菱東京UFJ銀行 赤坂支店 普通預金 5190124

口座名義 特定非営利活動法人

日本ガーディアン・エンジェルス

日本ガーディアン・エンジェルスは、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-78)として認定されています。寄附金は、寄附金控除等の対象になります。

メンバー募集!

ガーディアン・エンジェルスの一員として、活動に参加されたい方を募集しております。

16歳以上の方は正会員として(未成年者は保護者の承諾が必要)、15歳以下の方はジュニア・メンバーとして参加いただけます。